社会資本総合整備計画(第4回変更)

新川崎駅周辺地区市街地の活性化

平成 27 年 3 月 25 日

神奈川県川崎市

1	24 1 Mar.	пши	13 1-1 1-1	(1111	12015/11/											平成27年	-3月25日
,,,,,	の名称		新川崎駅周辺地区市街地の活性化														
	の期間		平成22年	∈度 ~	平成26年度 (5年間)		交付対象	川崎	市								
計画	の目標																
					の融合を特色とする都市)										
						るため、研究開発機能の集積を図り、併せて快適	な事業環境を提供する。										
						た・学び」などの市民利用機能の強化を図る。 F基盤とし、居住環境の向上を図る。											
計電	町の成果目			7 7 7 1	7. (2/4)TH(C H) 7 7 (2/4)H)	7 至益とし、石口外先の内工と囚事。											
HIF				000 / /	」 日 (H26) に増加												
					ロ (1120) に頃加 %以上が歩行環境に満足												
	7/217 - Leid 16	3/2-11-3	W 79-11	H-> 1 0	705/11 5 11 SK-561 C 1M/C												
J- 5	= // -	4447.00	Arte ala Is		1					<u> </u>	He 120 - 201	See Ada TT . 41) H I # 44				
疋貞	量的指標の	定義及び	算疋式]					定量的 当初現況値	指標の現	況値及∪ I標値	日標値 最終目	1.無活		備考	
										37050九個	中间 F (H24		N 和 E				
											(112-	:/\/	(1120				
					平均乗車人員の2倍	alor to take time of the should be a labelle and first free to				55,978人/日	62,000	Д ∕ П	65,000	人 / 日			
	(新川崎県	駅周辺の	基盤整備	等による	職任環境の同上度合いを	新川崎駅乗降客数の増加で評価する。)				(H20)	02,000	/ -	00,000	, (,			
	アンケー	ト調杏に	上り新川	に いっと かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	の歩行環境の満足度を把	据											
					駅等への歩行環境の満足					_	-	-	70	%			
				31		T				か田 / 1) 後事	光典の虫	_					
	全体事業費	ŧ		·計 B+C)	10,082百万円 A	8,422百万円(うち提案事業分 0円)	В	С	1,660百万円	効果促進事					16.5%		
			(A +)	БТС)						(A (提案分) + C) / (A+	B+C)					
交付対象	象事業																
A1 基	幹事業																
番号	事業	地域	交付	直接	Laste to	要素となる事業名			事業内容	Limit L. fr	事業実施		施期間 (年度)			全体事業費	備考
ш	種別	種別	対象	間接	事業者	(事業箇所)			(延長・面積等)	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	0113
1-A-1	市街地	一般	川崎市	直接	川崎市	新川崎地区都市再生整備計画事業		道路、	交通広場、公園 等	川崎市						3, 372	別添1
1-A-2	市街地	一般	川崎市	間接	鹿島田駅西部地区再開発株式会社	鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業		道路、交	泛通広場、商業、住宅等 2.3ha							5, 050	
1 5	1111212	/1/	7-11-9-11-	117.12		是两种人口的产品上升。 医中内内 1700万字 A				7 · 11 · 44 · 14						0,000	
		<u> </u>									l		合計			8, 422	
B 関連	車社会資本	整備事業											ЦИ			0, 122	
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名			事業内容	市町村名		事業実	施期間(年度)		全体事業費	備考
田力	種別	種別	対象	間接	ず未日	女术となる事末石			(延長・面積等)	111111111111111111111111111111111111111	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
													合計			0	
亚口	/k-6/17 5	女佐子で	> L1> F	n 批法と	b 7 林田												/ 土土
番号	一体的に	夫肔りつ	- 21-2	り期付さ	(10)別未												備考
	7 (-) (/) (/			1													
C 効	果促進事業				1					Limit Life							
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名			事業内容	市町村名	****		施期間(***	全体事業費 (百万円)	備考
101	種別	種別	対象	間接	III lide +	7 × - 1 17 m + 31. 45 /#		4 000	2	港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26		muar. o
1-C-1	市街地	一般	川崎市	直接	川崎市	産学官共同研究施設整備		4,800 m	n	川崎市						1,660	別添2
]	l .	1		l							合計			1 000	
	1												ΠiT			1,660	/-
番号							tion a delicate and the second	N.L. 1.11	The second secon		Lar and Art		_				備考
1-C-1	新川崎地[× (A-1)	の中央に	1高い将来	K性が期待できるナノ・~	マイクロテクノロジーを核とした産学官共同研究が	西設を整備し、周辺施設と	の連携・	相乗効果を発揮することに	より、さらなる	射産業の(削出を図	る。				
	関連する事				1						1						
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名			事業内容	市町村名			施期間(全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接		(事業箇所)			(延長・面積等)		H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
A'	市街地	一般	川崎市	直接	川崎市	新川崎地区都市再生整備計画事業		道路、	交通広場	川崎市						83	地域自主

В'

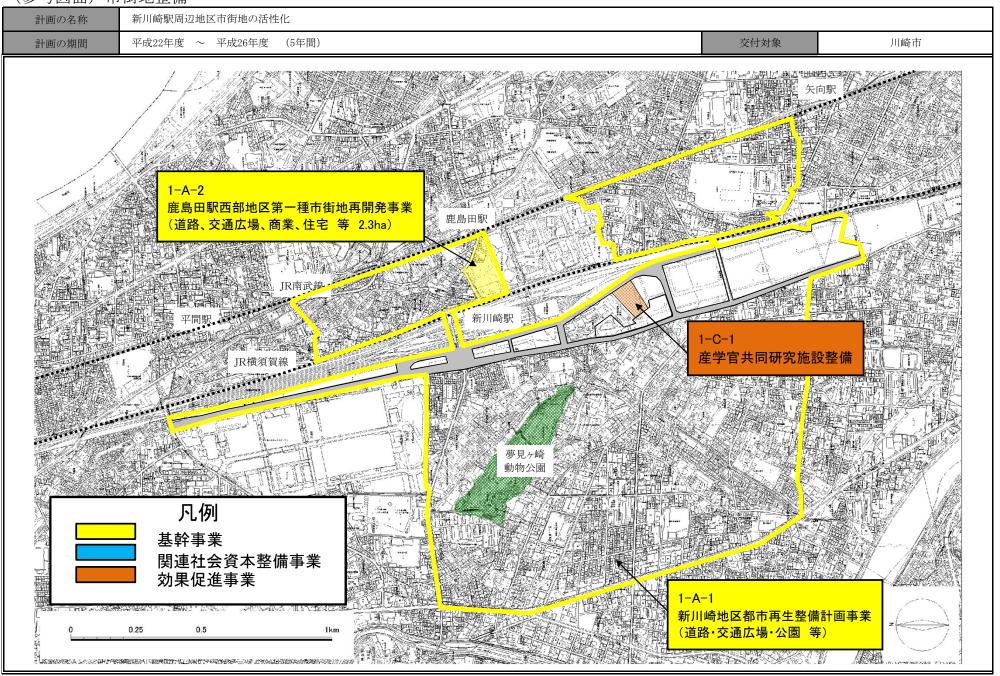
83百万円

С,

(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))

16.5%

(参考図面) 市街地整備



都市再生整備計画(第4回変更)

またがわさき 新川崎地区

神奈川県 川崎市

平成26年3月

[・]様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県 市町村名 川崎市 地区名 第		新川崎地区	面積	212.0 ha					
計画期間	平成 22	年度 ~	平成 2	26	年度	交付期間	平成	22 年度 ~ 平成	26	年度

日標

- 大目標:創造、活力、ゆとり、安心の融合を特色とする都市拠点の形成を図る。
- 目標1:「ものづくり」と「創造のもり」を一層発展させるため、研究開発機能の集積を図り、併せて快適な事業環境を提供する。
- 目標2:「緑を中心とした憩い」「防災」「研究開発と交流・学び」などの市民利用機能の強化を図る。
- 目標3:新たな活動やライフスタイルの創出に寄与する都市基盤とし、居住環境の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、JR横須賀線・湘南新宿ライン新川崎駅やJR南武線鹿島田駅に隣接する位置にあり、市の「地域生活拠点」として、個性ある利便性の高いまちづくりを進めている。
- ・本地区の中心に位置する「新鶴見操車場跡地」約33haは、昭和59年に遊休地化し、土地区画整理事業を前提にまちづくの検討を進めていたが、市の行財政改革等により、事業計画を抜本的に見直すこととなった。以降、学識経験者、産業界、市民 代表からなる「新川崎地区都市拠点整備土地活用方策検討委員会(H14~H15)」を設置し、同委員会でまとめた土地利用方針に即した「新川崎地区地区計画」を都市計画決定(H17)した。
- ・現在は、民間活力の導入や市民、事業者、行政の協働の取り組みにより、創造、活力、ゆとり、安心の融合した効率的、効果的な拠点地区の形成をめざし、道路や公園等の都市基盤整備と民間開発の適切な誘導を図り、個性ある利便性の高い地域生活拠点の形成を推進している。特に、「新川崎・創造のもり」を核として、ものづくり、研究開発機能の強化を図るために、高度な技術力を持つ製造業等等の立地誘導を進め、憩いや交流、学びなどの機能を備えた特色あるまちづくりを進めている。
 ・平成17年度から平成21年度にかけてまちづくり交付金を活用し都市基盤整備等の事業を実施した。また、この間、操車跡地内の民間開発事業の竣工もあり、新しい街並みが形成されつつある。

課題

- 新川崎駅の交通結節点機能を強化するため、交通広場、跨線歩道橋の整備を促進する必要がある。
- ・地区周辺の道路と機能的に連携した道路ネットワークの形成を目指し、操車場跡地の道路整備を進めてきたが、鉄道敷きで分断されている本地区は、動線を跨線橋に頼っており、特に快適な歩行環境を確保する点で課題が残っている。
- ・道路整備により自転車レーン等を設置したことから、地区内における円滑な自転車通行が期待されるが、駅近辺の放置自転車の増加が予想されるため、自転車収容台数の増強とともに放置自転車の撤去活動や利用者へのマナー啓発等ソフト面の取り組みを強化し、良好な自転車利用環境の維持を図る必要がある。
- ・地区内には、大規模な未利用地が残されており、土地利用方針に即した未利用地の活用を促進する必要がある。
- ・操車跡地に隣接する既成市街地の環境改善が課題となっているが、スプロール的に市街化が進んだ地域であり、用地確保等の課題から新規基盤整備等による抜本的な対応が困難なため、既存公共施設等を活用した改善型のまちづくりが必要であ
- ・地区内に存在する夢見ヶ崎公園は、地区公園として都市計画決定され、川崎市内で唯一の動物園となっており、古墳群などの遺跡があるなど、歴史的資源にも恵まれている貴重な地域資源として市民に親しまれているが、園内のバリアフリー化や導入 路が十分に整備されていないなど、区民会議においても重要な課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

- ・川崎市総合計画川崎再生フロンティアプラン(H17.3)
- 個性ある利便性の高い地域生活拠点の整備
- ・川崎市都市計画マスタープラン(H19.3)
- 地域の特性を活かした魅力ある「地域生活拠点」を育むとし、①新たなものづくり・研究開発機能の集積を図るとともに、地区計画に基づいた、商業・業務機能、都市型住宅等の機能が複合した特色ある市街地の形成②交通結節機能を高める道路、交通広場、跨線歩道橋等の都市基盤整備の推進③地域資源を活かした周辺市街地の改善などを位置づけている。

目標を定量化する指標

_												
	指 標	定 義		目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度				
	新川崎駅乗降客数	人/日		新川崎駅周辺の基盤整備等による職住環境の向上度合いを新川 崎駅乗降客数の増加で評価する。(トレンドと同程度を目指す。)	55,978	H20	65,000	H26				
	放置自転車率			自転車利用環境の向上度合いを放置自転車率の減少で評価する。(従前値半減を目指す。)	6	H21	3	H26				
	歩行環境満足度			道路整備等の促進の効果を新川崎駅等への歩行環境の満足度 により評価する。(利用者の7割程度が満足する環境を目指す。)	-	H21	70	H26				

都市再生整備計画の整備方針等

画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
(市街地環境の改善) - 道路、交通広場等の都市基盤整備や民間開発の適切な誘導を継続し、地域生活拠点として魅力ある職住環境の実現を図る。 - 新たな歩行者専用道路の整備や民間開発における敷地内通路との連携により、既存跨線橋の歩行環境を補う。 - 回遊性や利便性の向上を図るため、都市基盤と連動した案内標識等の整備を行い、動線としての機能を強化する。	基幹事業 〇道路・・・地区幹線道路2号、地区幹線道路3号、歩行者専用道路、鹿島田跨線橋(耐震補強)、 交通広場、(仮称)鹿島田207号線 〇地域生活基盤施設・・・駐輪場、案内標識等設置、鹿島田跨線歩道橋(立体遊歩道)
(交通結節機能の強化) - 新川崎駅周辺の交通環境の改善と駅利用者のアクセス性の向上を図るため、交通広場を整備するとともに、既存の鹿島田跨線橋を補完して、歩行者専用の跨線橋を新たに設置する。 - 新川崎駅周辺の自転車利用環境の強化を図るため新たな駐輪施設等を設置する。	基幹事業 〇道路・・・交通広場 〇地域生活基盤施設・・・駐輪場、案内標識等設置、鹿島田跨線歩道橋(立体遊歩道)
(地域資源等の活用) ・夢見ヶ崎動物公園等の地域資源を活かし、公共施設の更新などにより市民利用機能の強化を図る。 ・未利用地の活用などにより、産業の創出・育成を目指したものづくり・研究開発機能の集積を図るとともに、都市基盤整備等を推進し、より快適な事業現境を提供する。	基幹事業 ○道路・・・地区幹線道路2号、地区幹線道路3号、歩行者専用道路、交通広場 ②地域生活基盤施設・・・駐輪場、案内標識等設置、鹿島田跨線歩道橋(立体遊歩道) ○公園・・・夢見ヶ崎動物公園、(仮称)鹿島田2丁目公園 ○高質空間形成施設・・・園路整備他

その他

新川崎地区地区計画に基づく民間開発の規制、誘導

交付対象事業等一覧表

	交付対象事業費		3,455		交付图	艮度額			1382		国費率		0.4
ち、社会資	[本整備総合交付金対象	事業 計	3,372	うち、社会	会資本整備総	合交付金效	象事業 計		1348.8				
ち、地域自	目主戦略交付金対象事業	計	83	うち、地域	或自主戦略交	付金対象事	業計		33.2				
事業①社会	資本整備総合交付金											((金額の単位は百万円
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考) 開始	事業期間 終了	交付期間 開始	内事業期間 終了	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分しうち民	交付対象 自担分 事業費
道路	120.70	地区幹線道路	川崎市	直	L≒3,910m, W=13~20m	H17	H26	H23	H26	事本員 106	106		10
道路	橋梁耐震補強	鹿島田跨線橋	川崎市	直	L≒205m, W=14m	H17	H26	H25	H26	274	274	274	27
道路		步行者専用道路	川崎市	直	L≒470m, W=4~6m	H22	H22	H22	H22	29	29	29	2
道路		交通広場	川崎市	直	A≒5.000㎡	H17	H26	H23	H26	736	736	736	73
道路		(仮称)鹿島田207号線	川崎市	直	L≒180m, W=4m	H26	H26	H26	H26	18	18	18	1
公園		夢見ヶ崎動物公園	川崎市	直	トイレ設置	H23	H25	H23	H23	15	15	15	1
公園		(仮称)鹿島田2丁目公園	川崎市	直	A≒2.000m²	H26	H26	H26	H26	44	44	44	4
古都及び緑均	地保全事業												
河川	*								1				
下水道		_			_				1				
駐車場有効和	利用システム	_			_				1				
地域生活基盤		_	川崎市	直	_	H22	H25	H22	H26	219	219	219	21
地域生活基盤		_	川崎市	直	_	H17	H26	H22	H26	1,721	1,721	1.721	172
高質空間形成		_	川崎市	直	_	H23	H25	H23	H25	210	210	210	21
高次都市施設			71149113			1120	1120	1120	1120	210	210	210	
既存建造物流													
土地区画整理									1				
市街地再開発	_ , .,,			+				-	+				
中国地 西 用牙 住宅街区整備	- • • • • • • • • • • • • • • • • • • •												
地区再開発事													
									1				
	環境整備促進事業												
優良建築物等									1				
住字市街地	拠点開発型 沿道等整備型												
総合整備	沿边寺整備型 四年公司市(47世世)												
+未	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
街なみ環境素	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			-									
住宅地区改良				-									
都心共同住宅				-									
公営住宅等													
都市再生住宅													
防災街区整備	備事業												
合計										3,372	3,372	3,372	0 3,37
全事業②地域 6	自主戦略交付金												
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模		事業期間		内事業期間	(参考)全体	交付期間内	[<u> </u>	交付対象
	細項目	交通広場		直		開始	終了	開始	終了	事業費	<u>事業費</u> 83	うち官負担分 うち民 83	
道路		又 四仏物	川崎市	旦	A≒5,000m ²	H17	H26	H24	H24	83	83	83	3
河川		_		1	1			1	 				
下水道					- -				 		- ^^	00	0
合計	内事業期間はH24以降を記載									83	83 ※H24以降分を記載	83	0 8

3,455

3,455

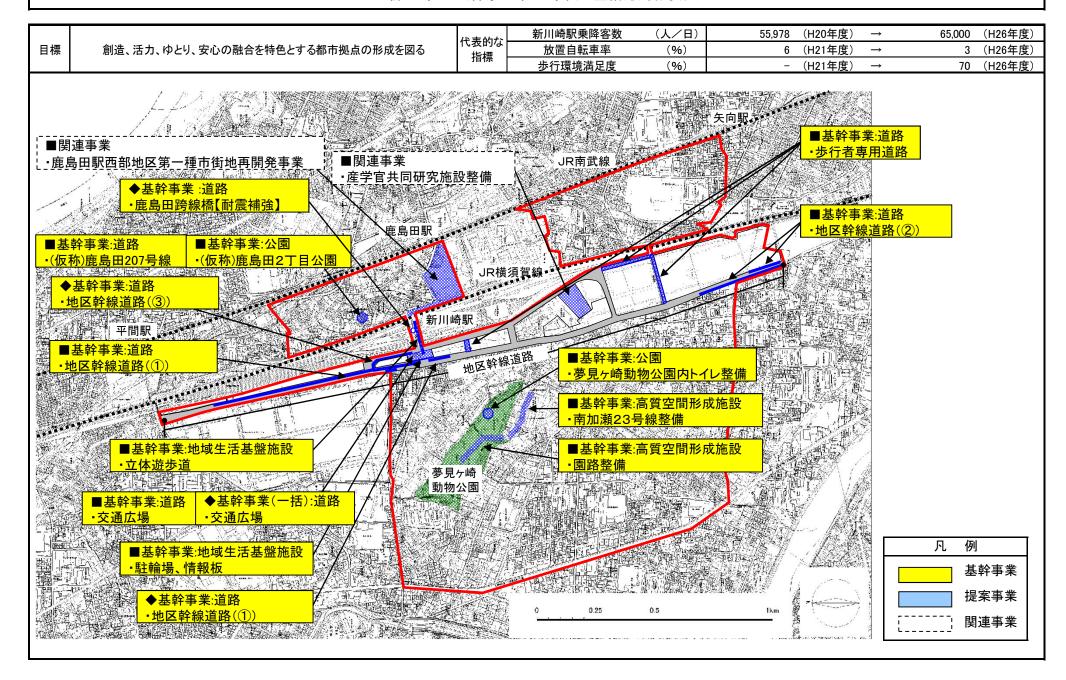
3,455

3,455 ···A=A'+A"

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)	事業期間	交付期間に	内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象
争未	細項目	争未回则右	争未工件	旦/间	戏侠	開始	終了	開始	終了	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費
htd创告														
也域創造 支援事業														
事業活用調		=			_									
		=			_									
まちづくり活 動推進事業		-			_									
助推進爭果 合計												0 0	0	0
音計										0		UĮ U	U	U
事業②地域自主戦	比較亦什全													
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)	事業期間	交付期間	内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象
争未	細項目	争未固所名	争未土体	旦/间	况保	開始	終了	開始	終了	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費
sh tat 合同性														
地域創造 支援事業														
事業活用調		-			_									
查		_			_									
まちづくり活		-			_									
動推進事業		_												
今計										0		0	0	0
《交付期間内事業	葉期間はH24以降を記載							※H24以降を記載			※H24以降分を記載			
	97													
事業 総計(①+(総計	<u>4</u>))									0		0 0	n	0
© aT										0		U U	U	U
													合計(A+B)	3,455
き)関連事業													DBI(A1D)	3,433
//A/A-7-A	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模		(いずオ	iかにO)		事業	期間	全体事業費	1	
						直轄	補助	地方単独	民間	開始	終了			
		鹿島田駅西部地区	鹿島田駅西部地区再開発株式会社	国土交通省			0			H23	H26	4,978		

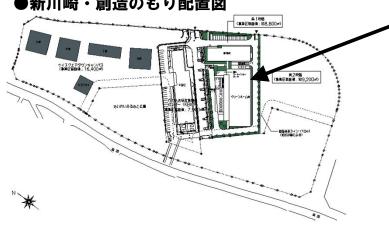
(参	考)関連事業											
	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模		(いずれ	かに〇)		事業	美期間	全体事業費
	1 1				が大	直轄	補助	地方単独	民間	開始	終了	工件学术员
	鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業	鹿島田駅西部地区	鹿島田駅西部地区再開発株式会社	国土交通省	2.3ha		0			H23	H26	4,978
	産学官共同研究施設整備	新川崎地区D地区	川崎市	国土交通省	4,800 m²		0			H23	H24	1,660
i												
1												
	合計											6.638

新川崎地区(神奈川県川崎市) 整備方針概要図



ナノ・マイクロ産学官共同研究施設整備計画







- ●建築面積 3,550 m²
- ●延床面積 4,830 m²
- ●敷地面積 8,800㎡
- ●構造・規模
 - ・研究棟:鉄筋コンクリート造 2階建て
 - ・クリーンルーム棟:鉄筋鉄骨コンクリート造、
 - 一部鉄筋コンクリート造

